

受注企業動向調査結果

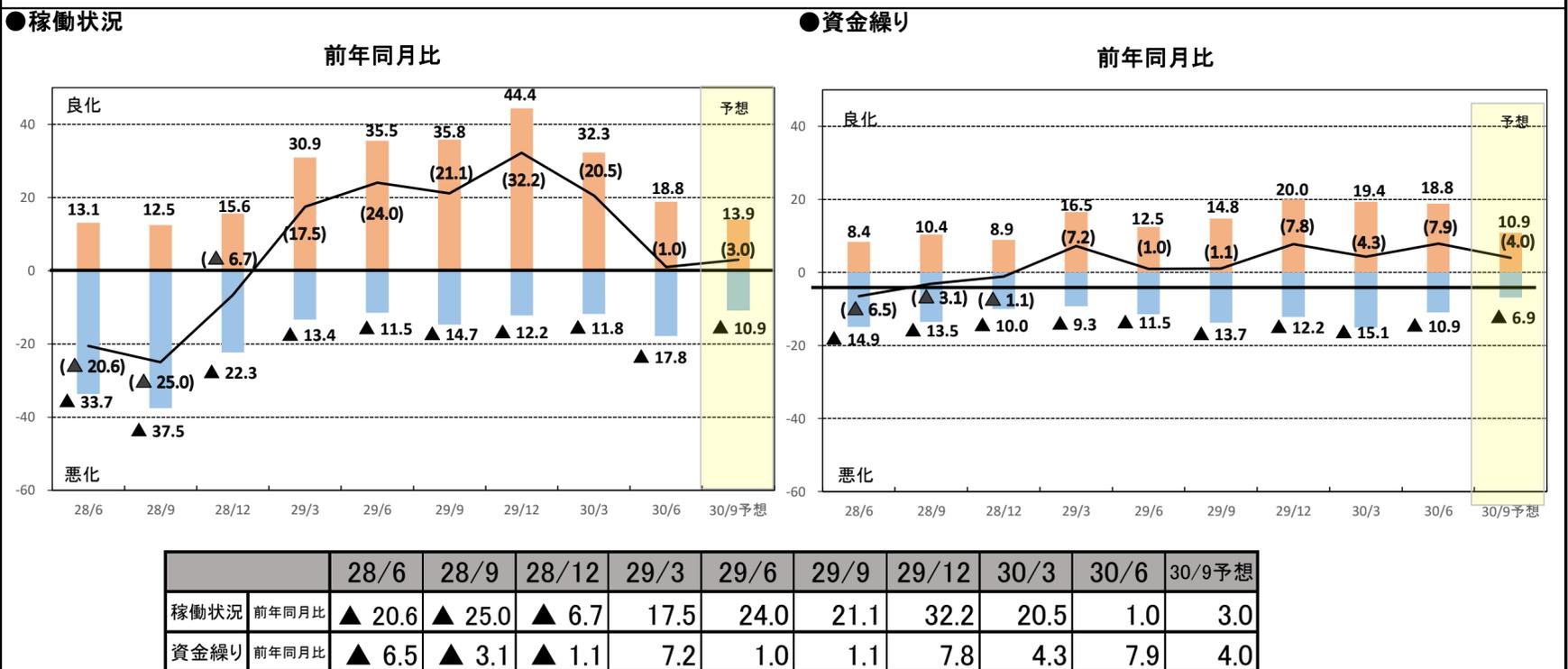
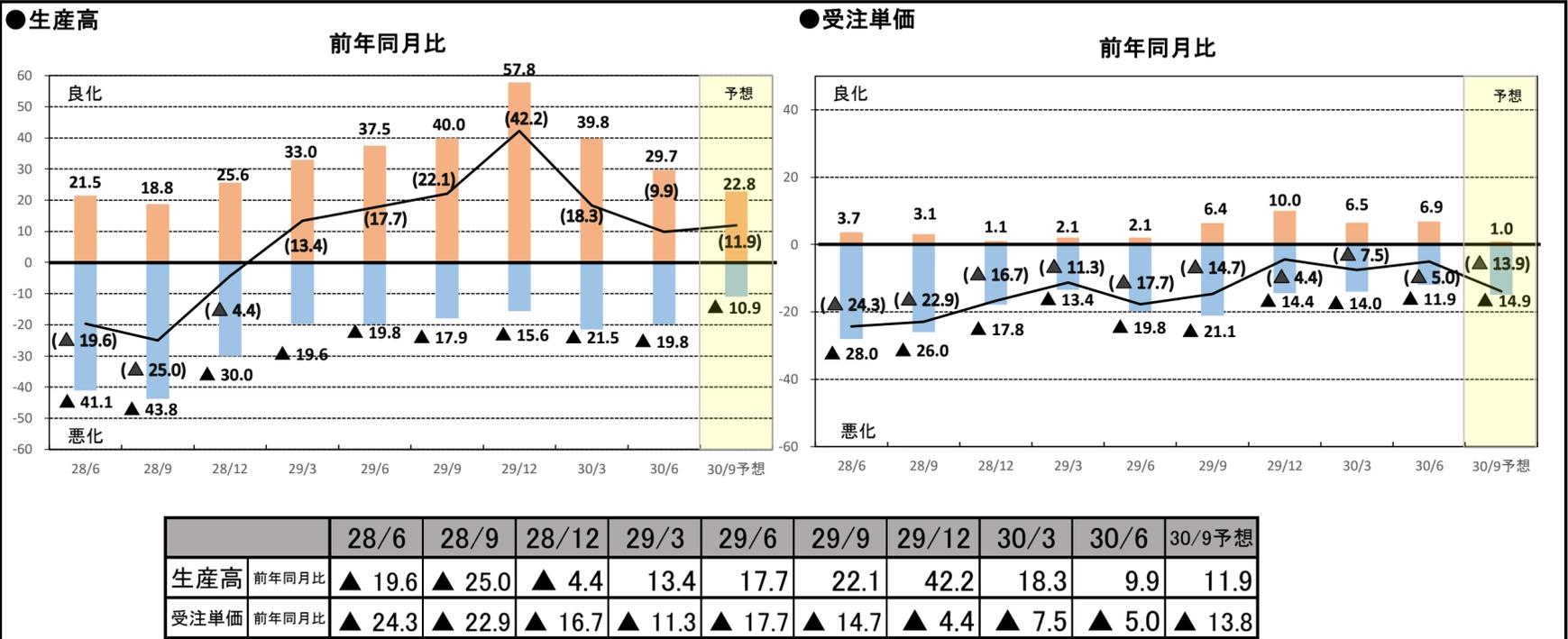
-2018.7-

- 調査時点 平成30年6月調査(平成30年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 101社(回答率:67.33%)

<業種内訳>

プラスチック	6社
鉄鋼・非鉄	6社
金属製品	22社
一般機械器具	24社
電気機器	19社
輸送用機器	7社
精密機器	10社
縫製	7社
計	101社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは9.9で前回の18.3から8.4ポイント減で悪化となった
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲5.0で前回の▲7.5から2.5ポイント増で改善となった
- ・稼働状況(前年同月比)DIは1.0で前回の20.5から19.5ポイント減の悪化となった
- ・資金繰り(前年同月比)DIは7.9で前回の4.3から3.6ポイント増の改善となった
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が11.9で2.0ポイント増加の改善、受注単価は▲13.9で8.9ポイント減少の悪化、稼働状況が3.0で2.0ポイント増加の改善、資金繰りは4.0で3.9ポイント減少の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、依然として受注引き合いはあるものの、「人員不足により生産ができない」、「コストが増加している」といった意見が多い。一方で、「受注減少」の声も上がってきており、今後を不安視する意見もある。